

失われた歌を求めて！

絶滅危惧に瀕しているカナダのファースト・ネーション(先住民)の言葉で歌う。
100年前の蠟管録音や、出会った長老から祖先の音楽を吸収。

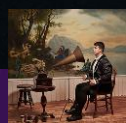
8月 August
先住民月間

Indigenous Peoples' Month

8月9日は国連が定めた
「国際先住民デー」

Jeremy Dutcher

ジェレミー・ダッチャー



2018

ポラリス・ミュージック
プライズ

2024

ポラリス・ミュージック
プライズ

2025

ナショナル・アーツ
センター賞

2024



RIDDU RIDDU



ヨーヨー・マのアルバム

「Notes for the Future」に参加

史上初！カナダの最高音楽賞を2度受賞

カナダの名誉ある総督芸術賞受賞

国際先住民民族フェスティバル出演

テノール歌手/ピアニスト

Tenor singer
Pianist

ジェレミーは、豊かな表現力を持つテノール歌手であり、繊細かつ深みのある演奏で魅せるピアノ奏者としても高く評価されています。クラシックの声楽訓練を受けた彼の歌声は、時にオペラのアリアのように情熱的に、時に祈りのように静かに響き、先住民の言葉に命を吹き込む力を持っています。

ピアノ演奏においても、伴奏にとどまらず、音そのものが語り、空間を包み込むような静けさと強さを併せ持っています。クラシック、ジャズ、現代音楽、そして祖先から受け継いだ旋律を自在に往還しながら、ジャンルを超え、時間と空間をつなぐ儀式のような体験へと聴き手を誘います。



<海外の音楽評>

- ・柔らかなコードが、森の中に朝日が差し込むように魂を揺さぶった。
- ・ピアノと祖先の録音が一体となり、聴衆を共作へと誘う儀式的空間を生み出した。
- ・音を全身で祈るかのようだった。
- ・オペラのアリアを減びつつある先住民言語で歌い上げ、カナダに衝撃を与えた。
- ・クラシックとジャズの影響が自在に飛び交う“境界を越える演奏”。
- ・声が純粋で、感情表現の強さが際立っていた。



トゥー・スピリット

THE TWO-SPIRIT

トゥー・スピリットという言葉をご存じでしょうか？

これは、北米の先住民の中に古くから存在する、男性でも女性でもない、あるいはその両方の精神を持つ人を表す伝統的なジェンダーの概念です。体の性別だけで人を分類せず、“魂の多様性”を尊重する考え方に根ざしています。

ジェレミーは「トゥー・スピリット」であり、同時に、自身を「クィア（多様な性のあり方を示す言葉）」としても公言しています。

彼は、先住民として、そして固定観念にとらわれない生き方を持つ人間として、堂々とその姿を見せることが、未来の子どもたちの勇気になると信じています。

ジェレミー・ダッチャー 神戸公演

Jeremy Dutcher in KOBE

2025年8月11日(月祝)

Open 15:30 / Start 16:00

❖会場：神戸 100BANホール 神戸市中央区江戸町100

❖料金：全席自由（整理番号順入場）

前売 一般 5,000円 / 学生 2,500円

当日 一般 5,500円 / 学生 3,000円

※未就学児の入場はご遠慮頂いております。

❖お問合せ：Harmony Fields 0798-55-9833

❖詳細・チケット：



<出演>

- ・ジェレミー・ダッチャー (ピアノ/ヴォーカル)
- ・トム・ギル (ギター)
- ・ステファン・シュナイダー (ドラム/パーカッション)

後援：カナダ大使館